

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名 (有限会社 大三ロジテック)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30変更】

項目番号	カテゴリ	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本 (必須)			・経営トップが積極的に差別のない体制作りを行っている。 ・特に雇用に関してはダイバーシティを意識した雇用を行っている。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本 (必須)			・セクハラ、マタハラ、パワハラ等ハラスメントを防ぐための基本的指導、教育などを、管理職を対象に実施している。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本 (必須)			・社員の時間外労働を経営者で把握し、長時間労働防止に取り組む、必要に応じて社員への振替休日制度を設けている。								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本 (必須)			・ダイバーシティの観点からどのような社員に対しても公正公平に接している。 また元外国籍の社員を雇用し、最適な労働環境を提供している。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・社内での安全講習会を定期的に行い、毎月安全に関する環境整備を行い、従業員の安全への意識を高めている。			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本 (必須)			・ドライバーのメンタルヘルスを良好に維持するため、管理職はドライバーと積極的にコミュニケーションを図っている。			3														
7		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本 (必須)			・定年後再雇用制度を設け、高齢者や退職者でも活躍できる環境を整えている。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本 (必須)		【予定】	・今後、職務や業務内容に応じた社外研修を実施する。				4	5.5			8	9								
9		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本 (必須)			・同一労働であれば、賃金・福利厚生は、雇用形態に拘わらず、すべて同一の制度としている。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・メンタルヘルス・コロナ対策として小集団活動のなかで活動を行っている。			3					8									
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本 (必須)			・廃棄物に関しては、社内分別を管理しており、処理業者に委託し、適切に処理を行っている。											11.6	12		14.1			
12		【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本 (必須)			・営業活動における、毎月のCO2排出量を算出し、見える化し社内で共有している。							7.3					13					
13		【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本 (必須)			・自社の水道光熱費、燃料費等をCO2排出量へと換算して、削減に向けての取組を会社全体で行っている。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本 (必須)			・法令で規制された有害化学物質を把握し、リスクアセスメントに基づく安全作業をしている。			3.9			6.3					11.6	12.4					

項目 番号	カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得証拠があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合こちらには理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																							
15	環 境	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本 (必須)			・温室効果ガスの削減を意識した経営を行い、環境への配慮を行い、自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している。						6.6									15		
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本 (必須)			・再生可能な資源物(ペットボトルや段ボールなど)の分別を社内全員で管理し、専門業者に処理を委託している。												13		14.1			
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・自社の水源を含む水利用状況を把握し、使用量削減の計画を策定している。						6.4 6.6											
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ (任意)		【予定】	・今後、ISO14001及びエコアクション21の取得へ向け、社内整備をし、様々な環境問題に取り組んでいく。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ (任意)		【予定】	・環境問題への取組の重要性和と求められているサステナブル経営を推進していく。												12.6					
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社屋屋上に太陽光発電パネルを取り付け、再生可能エネルギーを利用している。							7.2						13				
21	公 正 な 事 業 慣 行	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・社内で使用するフォークリフトの燃料を、天然資源である石油由来のものから、電気へと変えることで、天然資源の持続的利用に配慮している。												12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・コンプライアンスの観点から、社内における情報の共有と、経営者間での情報コミュニケーションを徹底している。																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本 (必須)			・不正競争行為を含む行動規範を社内で管理し、不正な競争行為に関与しない方針を掲げて、社内でも共有している。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本 (必須)			・社内の情報管理を徹底し、外部への漏洩がないよう管理している。								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本 (必須)			・顧客の情報管理を社内でも徹底して行っている。 ・社員の個人情報の管理も徹底している。																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ (任意)			・紛争鉱物の取り扱いがないことを確認している。																16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ (任意)			・取引先や協力業者に対して、情報共有を行いリスク管理を行っている。 ・今後も必要に応じて、パートナーシップの推進と強化を実施して、情報の共有と、生産性、効率性の向上を目指していく。					5		8		10			12	13	14	15	16	17
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している ■パートナーシップ構築宣言サイト: https://www.biz-partnership.jp/	基本 (必須)		【予定】	今年度【パートナーシップ構築宣言】を作成・公表予定。			3				8	9	10								17

項目 番号		チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】の 場合 選択入力	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載） （【非該当】を選択した場合こちらには理由記載）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																	
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
																								
29	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・サービスを提供するにあたり、あらゆる想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。 ・定期的な安全ミーティングを行い、安全に業務に取り組める仕組みを作っている。			3.9									12.4						
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本 （必須）			・専門的な積載技術と梱包手法、安全運転により、機密機器の安全かつ確実な輸送を行っている。								9										
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・再生可能エネルギーを利用し、社内の温室効果ガス排出も見える化することで、環境への配慮を意識した経営に取り組んでいる。						6						12	13	14	15			
32	社会貢献・地域資源	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・定年後再雇用制度など、高齢者支援を行っている。 ・社内で発生している温室効果ガスの排出量を測定し、それを減らす提案をしている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
33		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本 （必須）			・雨天時など、自社の敷地内から、泥水などの流出を防ぐため、自社駐車場に定期的に砕石を敷いている。				4					9		11	12		14	15		17	
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ （任意）		【予定】	・地域の子供たちへの防災活動（交通安全等）を中心に今後活動していく。				4								11			14	15		17
35	組織体制	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ （任意）		【予定】	・グループ企業などとの協働により、地域資源の紹介や、積極利用を促進していく。									8	9		11	12	13				
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本 （必須）			・企業理念をホームページに掲載し、公表している。 ・経営目標を管理職で共有している。									8	9							17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本 （必須）			・月一回の安全ミーティングを通して、社員へ法令順守の考えを浸透させ、経営者による管理・指導体制を構築している。																	16	
38	組織体制	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本 （必須）			・経営陣が責任をもって対応している。 ・必要に応じて取締役会及び営業会議で状況確認し、体制整備を進めている。																	16	
39		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本 （必須）			・取引先や顧客との情報交換や情報共有を密にし、課題解決に向けた適切な対応をとっている。																16	17	
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ （任意）			・運輸安全マネジメントに基づき、リスク調査を行い、管理と対策を行っている。																	16	
41	事業承継	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ （任意）			・安全教育を充実させ、事故の削減に取り組んでいる。 ・運転者への無事故手当の支給制度を設け、CSR活動である交通事故削減に取り組んでいる。																	16	
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ （任意）		【予定】	・今後、計画策定を検討する。									9		11		13 13.1			16		
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ （任意）			・2020年から事業継承プログラムを策定し、実行している。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
温暖化防止に向けて、自社が出す温室効果額（CO2）の数字化「見える化」を実施している。		自社の使用エネルギー（電気、ガス、水道、ガソリン、軽油など）をCO2排出量に換算し、管理している。																	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）
- ・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定